

患者管理 ID

□ □ □ □

・健康推進課が契約更新時に付与した4桁の患者管理IDを記入する。

- ・原本・コピーに○をつける
- ・新規、更新に○をつける。
- ・P2の計画(写)所持者と同じ通し番号を()に記入する。忘れずに！！
- ・原本には付番しない。

原本 ・ コピー

令和8年3月 改訂版

新規・更新 No. ()

健康福祉
センター
受領印

在宅人工呼吸器使用者のための 災害時個別支援計画

板橋版

本計画は、在宅人工呼吸器使用者とご家族、関係者を対象とした災害時の行動計画です。「平時から防災意識を高め、その準備を行うこと」「災害時に適切な行動をとること」など自助力、共助力を高めることを目的に作成します。

ふりがな

氏名

※検討、確認したことが分かるように空白にせず、や状況を記載します。

住所 板橋区

TEL

普段療養している部屋の位置

避難済の目印

安否確認のために訪れた関係者に避難済であることが分かる目印を記載する。決まらない場合は検討中などを記載する。

避難行動要支援者 登録 | 済 未

- ➡ ① 登録予定 ____年__月__日
② 登録しない

読み合わせ日 | ____年__月__日 作成者(所属・氏名) |

前回作成日 | ____年__月__日 年1回は見直しましょう

～目次～

| | | |
|-------|--|------|
| 1ページ | 災害時における人工呼吸器の作動確認と対応の流れ (発災時は、落ち着いて、このページを確認してください) | …フロ- |
| 2ページ | 連絡リスト | …様式1 |
| 3ページ | 災害用備蓄リスト-7日を目安に- | …様式2 |
| 4ページ | 停電 | …様式3 |
| 6ページ | 地震 | …様式4 |
| 7ページ | 風水害(洪水、高潮、土砂災害等) | …様式5 |
| 8ページ | 緊急時の医療情報連絡票 | …様式6 |
| 12ページ | 災害時の情報リスト | |

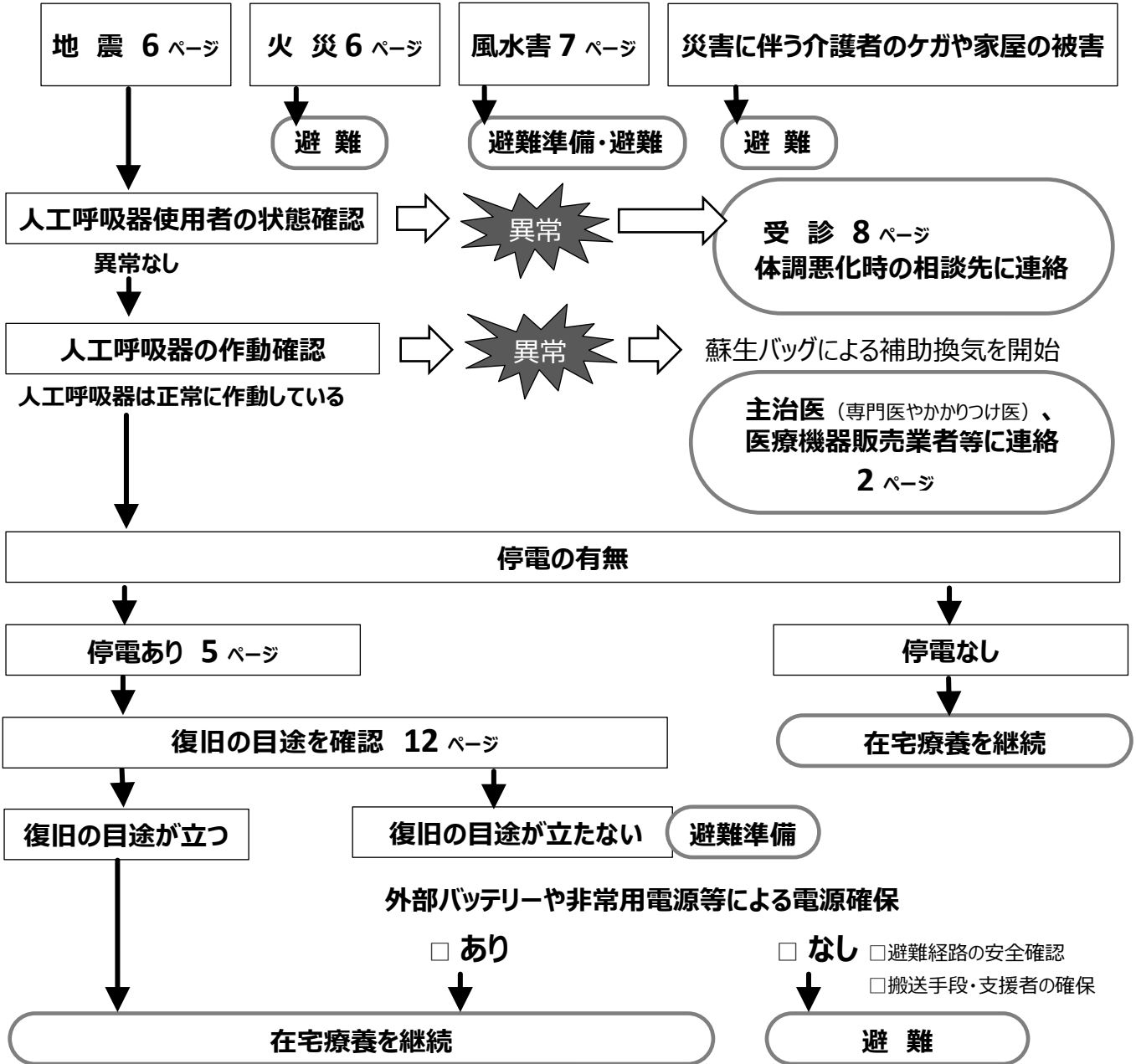
緊急時は、落ち着いて、この流れを確認してください。□1 ページ内容を説明、確認した

災害時における人工呼吸器の作動確認と対応の流れ

該当する項目に☑を記載する。

P1の内容を説明、確認後に☑を記載する。

- あなたの自宅付近のハザードマップ □洪水・浸水 □土砂災害
 地震に関する地域危険度 □建物倒壊 □火災 □該当なし



【避難先等】

公共施設等、非常用電源設備のある施設、その他（親戚・知人宅等）を検討する。決まらない場合は未記入ではなく、確認したことが分かるよう「基本自宅避難」「検討中」などを記載する。

- 公共施設等 _____
- 非常用電源設備のある施設 _____
- その他（親戚・知人宅等） _____

様式 1

連絡リスト

安否確認する機関・担当者も被災している場合があります。関係機関で対応を相談しましょう。

使用者・家族 ← **安否確認する機関・担当者**
 () 訪問看護ステーション
 担当者 ()
【人工呼吸器使用者・家族との安否の確認方法 該当に○をつける】
 電話 メール 災害用伝言ダイヤル
 担当者の家庭訪問 その他 ()

【区担当部署 該当に○をつける】
 板橋・上板橋・赤塚・志村・高島平 健康福祉センター
【安否確認機関と区市町村担当部署との連絡方法、左記の該当項目を記載する 該当に○をつける】
 Logo フォーム、電話 メール その他 ()

健康福祉センターと地域保健課は情報共有

■ 関係者・機関

| 災害用伝言板などの登録 | 計画写 No. | 計画写の提供日 | | 電話番号 | メール |
|-------------|---------|---------|--|------|-----|
| | 1 | | ◎家族 () | | |
| 自助・共助 | | | 近隣者 | | |
| | | | 搬送支援者 | | |
| | | | 避難先 () | | |
| 共助・公助 | | | かかりつけ医 | | |
| | | | 専門医 | | |
| | | | かかりつけ薬局・薬剤師 | | |
| | | | 訪問看護師等 | | |
| | | 原本 | 保健師 | | |
| | | | ケアマネジャー | | |
| | | | ホームヘルパー等 | | |
| 計画写所持合計 | | | ←本人・家族以外の計画提供機関の計画写しの合計件数を記載する。 例：最終通し番号7の場合、7-1(主介護者家族1) = 6 | | |

計画(写)を提供(配付)した日にちを記載する。例：12/24
 予定の日にちを記載してもよい。

R7年4月～Logoフォームによる安否確認を開始しています。マニュアルを確認いただいて、Logoフォームも○をつけてください。

本人・家族以外の計画提供機関の計画写しの合計件数を記載する。
 例：最終通し番号7の場合、7-1(主介護者家族1) = 6

■ 医療機器販売業者

機器に異常がある時など連絡

| 区分 | 担当者 | 所属 | 電話番号 |
|---------------|-----|----|------|
| 人工呼吸器 (機種：) | | | |
| 酸素濃縮装置 (機種：) | | | |
| 吸引器 (機種：) | | | |
| | | | |

様式 2

災害用備蓄リストー 7日を目安にー

適宜、必要に応じて品目を追加・削除しましょう。避難の際は、この災害時個別支援計画を持参しましょう。

| 品 目 | | 備 蓄 数 | 避難時の持出数 | 置き場所など |
|----------------------------|----------------------|---------|--------------------------|--------|
| 呼 吸 関 連 | 人工呼吸器 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 蘇生バッグ | | <input type="checkbox"/> | |
| | 外部バッテリー | | <input type="checkbox"/> | |
| | 予備呼吸器回路 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 予備気管カニューレ | | <input type="checkbox"/> | |
| | 加温加湿器 | | <input type="checkbox"/> | |
| | パルスオキシメーター | | <input type="checkbox"/> | |
| | 酸素ポンプ | | <input type="checkbox"/> | |
| 吸 引 関 連 | 吸引器 | バッテリーなし | <input type="checkbox"/> | |
| | | バッテリーあり | <input type="checkbox"/> | |
| | | 非電源式 | <input type="checkbox"/> | |
| | 吸引チューブ | | <input type="checkbox"/> | |
| | 低圧持続吸引ポンプ（唾液を吸引する機器） | | <input type="checkbox"/> | |
| 衛 生 材 料 | グローブ | | <input type="checkbox"/> | |
| | アルコール綿 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 蒸留水／精製水 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 注射器 | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| 栄 養 | 経腸栄養剤（ ） | | <input type="checkbox"/> | |
| | イルリガートル | | <input type="checkbox"/> | |
| | 接続チューブ、注射器 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 経鼻経管栄養チューブ等 | | <input type="checkbox"/> | |
| 薬 | 常備薬 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 頓服（ ） | | <input type="checkbox"/> | |
| 排 泄 | オムツ | | <input type="checkbox"/> | |
| | 膀胱留置カテーテル等 | | <input type="checkbox"/> | |
| 伝 意 達 思 | 文字盤など | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| 非 常 用 電 源 等 | 発電機 使用燃料（ ） | | <input type="checkbox"/> | |
| | 蓄電池 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 乾電池 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 延長コード（三又プラグ） | | <input type="checkbox"/> | |
| | シガーソケット・ケーブル | | <input type="checkbox"/> | |
| そ の 他 | 懐中電灯 | | <input type="checkbox"/> | |
| | 情報機器（ラジオやスマートフォンなど） | | <input type="checkbox"/> | |
| | ビニール袋、ティッシュペーパー | | <input type="checkbox"/> | |
| | 水 | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |

| | | |
|--------|--|----------------------------|
| 使用者の状態 | ●人工呼吸器使用者の状態の確認 6 ページ | P 5 の内容を説明、確認後に ☑を記載する。 |
| 人工呼吸器 | <ul style="list-style-type: none"> ● 正常に作動しているか ● バッテリー作動に切り替わっているか ● 加温加湿器へのぬるま湯や水の追加、もしくは人工鼻に変更 ● 故障の場合は、かかりつけ医や医療機器販売業者等に連絡する | |
| 吸引器等 | <ul style="list-style-type: none"> ● 非電源式吸引器等の準備 ● 低圧持続吸引ポンプ（唾液を吸引する機器）を乾電池式に切り替える | |
| 酸素濃縮装置 | <ul style="list-style-type: none"> ● 酸素ボンベに切り替える | |
| 電気関連 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電気が復旧するまでコンセントからプラグを抜く ● コンセント周辺に水がかかっていないかなど安全確認をする ● ブレーカーを落としてから、避難する | |

1 呼吸・吸引関連機器・器材、非常用電源

- 万が一人工呼吸器の故障などにより正常に作動しなくなった時は、蘇生バッグで補助換気する。
- 電気の復旧の目途が立たない場合、非常用電源を使用して、人工呼吸器の外部バッテリーを交互に充電する。
- 発電機によって外部バッテリー等を充電する場合は、必ず屋外で使用する。
- 充電式吸引器は、吸引する時だけ作動させる。

2 呼吸・吸引関連機器以外

- 電動ベッド | 電気が復旧したら、背上げ・背下げなどを行って姿勢や高さを調整する。
- エアマット | エアマットの状態に応じて、ふとんなどで調整する。
- 意思伝達装置 | バッテリーや乾電池を用いた操作に変更する。文字盤や合図などに変更する。
- 照明 | 懐中電灯・ランタン・ヘッドランプなど乾電池等で動く照明に変更する。
- 情報機器 | ラジオやスマートフォンなどを活用し、情報を得る。

3 ブレーカー

- ブレーカーが **落ちている** | コンセントからプラグを抜き、バッテリー作動に切り替えた後にブレーカーを上げる。
ブレーカーを上げても電気が点かない、すぐに落ちてしまう場合は、電気工事店又は東京電力パワーグリッド株式会社（**12 ページ**）へ連絡する。

落ちていない | 近所一帯が停電している場合又はブレーカーが落ちていないにもかかわらず家の全部（又は一部）の電気が使えない場合は、停電情報を確認する（**12 ページ**）。室内灯が点灯するかなど、電気の復旧を確認した後、プラグを差す。

4 非常用電源設備のある施設（バッテリーの充電など） **1 ページ**

1 確認

P 6 の内容を説明、確認後に☑を記載する。

人工呼吸器使用者の状態

- 顔色に変化はないか
- SpO₂ など、バイタルサインに異常はないか
- 人工呼吸器のモニター値などに変化はないか
- ケガをしていないか

8 ページ

人工呼吸器の作動状況

- 正常に作動しているか
- 呼吸回路の接続部にゆるみはないか
- 人工呼吸器のモニター値（設定値）が変わっていないか

9 ページ

家族らにケガはないか

- 家族らにケガはないか

1 ページ

療養環境

- 家屋や避難経路は大丈夫か
- ライフライン（電気・水道・ガス）は大丈夫か
- 室内に落下や転倒したものはないか

1 ページ

2 対応

近隣で火災発生

- 近隣者に支援を求める
- 安全な場所へ避難（避難先 ）
- 可能であれば災害用備蓄品を持って避難

2 ページ

3 ページ

停電発生

- 停電時の確認と対応

5 ページ

3 安否の連絡

2 ページ

風水害（洪水、高潮、土砂災害等）

日常の確認事項

浸水域ではない

- 風水害時の自宅の状況について

| | 荒川はん濫 | 集中豪雨・土砂災害 |
|--------|-------|-----------|
| 浸水深 | m | m |
| 浸水継続時間 | 時間 | 時間 |

- 避難する場所（どこに避難しますか）

自宅の浸水しない場所 浸水域外（避難所、親戚、知人宅） その他

避難する場所：

- 避難経路の確認（添付の地図で確認）

- 避難手段（自宅から・所要時間）

避難する場所までの交通手段：

避難する場所までの移動時間：

- 避難するタイミング：警戒レベル

- 情報収集の方法を確認しておく。NHK データ放送/防災・緊急情報メールなど

- 機器の作業時間、作動方法を確認しておく。

- 避難に備え、様式 2（3 ページ）の持ち出し物品をまとめておく。

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報の確認と取るべき行動の目安

警戒レベル 1 【早期注意情報（警報級の可能性）】 情報収集し、必要に応じて避難準備を始める

- 医療機器のバッテリー等の充電
- 非常用電源等の作動確認

警戒レベル 2 【注意報】 避難行動を確認。いつでも避難できるよう準備を完了する
台風など大規模な災害が予想される場合は、この段階での避難開始も検討する

警戒レベル 3 【避難準備・高齢者等避難開始】 すみやかに避難を開始

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル 3 で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル 4 【避難勧告】 避難完了を目指す

危険な場所から全員避難しましょう

重要！！

警戒レベル 5 【緊急安全確保】 避難完了を目指す

警戒レベル 4 までに必ず避難。警戒レベル 5 は、すでに避難ができず命が危険な状況です。緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

この計画を元に訓練を実施した（例：災害時の対応手順を話し合う、外部バッテリーへ

切替え、非常用電源の稼働、移動訓練、災害伝言ダイヤルを試、蘇生バックの使用など）

緊急時の医療情報連絡票

人工呼吸器の設定に関する医師の指示書などの最新情報を一緒に保管しましょう。この連絡票は、災害時等に初めて対応する医療関係者に伝えたい医療情報をまとめたものです。人工呼吸器の設定内容等が変更した場合は、かかりつけ医や訪問看護ステーション等に声をかけて、作成・更新してもらいましょう。緊急的な受診の際にはこの様式を見せましょう。

体調悪化時の相談先・受診の目安となる状態

相談先 _____ TEL _____

相談先 _____ TEL _____

【受診の目安となる状態】 ※平常時に主治医に確認しましょう

【基本情報】

記入日 年 月 日

| | | | | | |
|--------------|---|----|----|-------|---|
| 氏名 (フリガナ) | () | | | | |
| 生年月日 | 年 月 日 | 年齢 | 歳 | 性別 | <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 |
| 住所 | TEL _____ | | | | |
| 診断名 | | | | | |
| 既往や合併症 | | | | | |
| 今までの経過 | 発症 年 月 人工呼吸器装着 年 月 | | | | |
| 服用中の薬 | 11 ページに処方箋やお薬手帳のコピーなどを貼っておきましょう | | | | |
| 基礎情報 | 身長 | cm | 体重 | kg | 血圧 / mm hg |
| | 体温 | ℃ | 脈拍 | 回 / 分 | SpO ₂ % |
| コミュニケーション | <input type="checkbox"/> 口話 <input type="checkbox"/> 筆談 <input type="checkbox"/> 文字盤 <input type="checkbox"/> 口文字 <input type="checkbox"/> 意思伝達装置 () <input type="checkbox"/> その他 () 具体的に記載 (Yes / No のサイン等) | | | | |

年齢の更新をしましょう。

■ 人工呼吸器に関する情報の貼付欄

災害時に必要な資料は、整理して添付しましょう。

【例】人工呼吸器の設定の指示書のコピー・人工呼吸器と外部バッテリーとの接続写真など

■ 医療情報等に関する貼付欄

【例】 保険証・薬の処方箋やお薬手帳のコピー・安楽な体位等の注意事項など

災害時の情報リスト 発災時に使用できるよう平常時に登録し、訓練しましょう

安否情報の登録・確認

- 災害用伝言ダイヤル 171
災害時に、固定電話、携帯電話・PHS 等の電話番号あてに安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国でその音声を再生（確認）することができる。公衆電話の場所も確認しておく。
- 災害用伝言板
携帯電話・PHS のインターネット接続機能で、被災地の方が伝言や文字によって登録し、携帯電話・PHS 番号をもとにして全国でその伝言を確認できる。
災害時は各社の公式サイトトップ画面に災害用伝言板の案内が表示される。
登録は被災地域内の携帯電話・PHS からアクセスが可能である。詳細は各社のページを確認する。
- 災害用伝言板（Web171）
パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話・PHS の電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができる。 URL <https://www.web171.jp> へアクセスする。

停電情報の確認

- 東京電力パワーグリッド株式会社
ホームページの場合 【停電情報】 URL <https://teideninfo.tepco.co.jp>
【問い合わせ】 <https://www.tepco.co.jp/pg/user/contact.html>
スマートフォンアプリの場合 【TEPCO 速報】 平常時にダウンロードしておきましょう
電話番号 0120-995-007 0120 番号がつかない時 TEL 03-6375-9803（有料）

避難情報・気象情報など

- お住いの区市町村のホームページ
- お住いの区市町村のメール配信サービス（平常時に登録しておきましょう）
- お住いの区市町村独自のサービス
- 気象庁のホームページ URL <http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
- 国土交通省 川の防災情報
- 東京都水防災総合情報システム
- 東京都防災ホームページ URL <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/>
- 東京都防災アプリ（平常時にダウンロードしておきましょう）
- テレビのデータ放送（リモコンの d ボタンを押して気象情報などを確認）